

テーマ：絶望を覚える時、私たちはどのようにして喜びを見いだすことができるのでしょうか？

『ところで、神様はどこにおられるのだろうか？これは最も不穏な兆候の一つです。あなたが幸せなときは、そのあまりの幸せに主をそこまで必要と感じなかったり、その幸せで自分に対する主の要求を疎ましく感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、冷静になって身を慎み、喜びと賛美で主を求めれば、主は両手を広げてあなたを歓迎してくれるでしょう(もしくは、そう感じられるでしょう)。しかしながら、切実な必要を覚え、他のどんな助けもむなしいときに主のもとに行けば、あなたは何を見いだすでしょうか？あなたの顔の前でボタンと閉められるドア、内側できつく締められるボルトの音。その後の沈黙…。なぜ神様は全てが上手くいっているときには司令官としていてくださるのに、困難のときには助け手としていてくださらないのでしょうか？』(C・S ルイス「悲しみをみつめて」)

○絶望から希望へ：ダビデから学ぶ祈りの姿(1-6)

1. 主に_____こと(1-2)

●ダビデの抱えていた問題

a) 沈黙される神様(1)

※申命記 6:25

「主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。」

b) 心を支配する悲しみ(2a)

c) 勝ちおごる敵(2b)

2. 主に_____こと(3-4)

3. 主に _____ こと(5-6)

※詩篇 31:12,14

「私は死人のように、人の心から忘れられ、こわれた器のようになりました。しかし、主よ。私は、あなたに信頼しています。私は告白します。「あなたこそ私の神です。」」

※詩篇 86:14-15

「神よ。高ぶる者どもは私に逆らって立ち、横暴な者の群れは私のいのちを求めます。彼らは、あなたを自分の前に置いていません。しかし主よ。あなたは、あわれみ深く、情け深い神。怒るのにおそく、恵みとまことに富んでおられます。」

※2 コリント 4:16-18

「ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」

※ピリピ 3:20-21

「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。」

○まとめ